

II 杉並区教育委員会の取組について

1 スーパー食育スクール事業 杉並区推進委員会委員一覧・年間計画

(1) スーパー食育スクール事業 杉並区推進委員会委員一覧

東京都教育庁指導部指導企画課指導主事
杉並区教育委員会事務局済美教育センター指導主事
杉並区教育委員会事務局学務課長
女子栄養大学短期大学部教授
東京都立農芸高等学校長
合同会社五穀豊穰代表
（一財）漁港漁場漁村総合研究所
杉並区立三谷小学校長
杉並区立三谷小学校主幹教諭
杉並区立三谷小学校栄養教諭
杉並区立三谷小学校地域運営協議会長
杉並区立三谷小学校地域学校運営協議会長職務代理
杉並区立三谷小学校学校支援地域共生本部長
杉並区立三谷小学校PTA会長

(2) スーパー食育スクール事業 杉並区推進委員会年間計画

スーパー食育スクール事業 杉並区推進委員会を年3回開催し、大学・企業・東京都教育庁・生産者といった外部専門家などを活用し、三谷小学校の事業テーマである「学校、家庭での和食推進の取組みを通じた社会性の向上と生活リズムの改善」についての検証を行い、食育のモデル実践プログラムになるような取組の構築を目指す。

2 スーパー食育スクール事業 杉並区推進委員会の取組概要

「スーパー食育スクール事業 杉並区推進委員会」を年3回、7月・10月・2月に実施した。

第1回では、委員の紹介や事業計画書の説明を行った。第2回では、「平成26年度スーパー食育スクール事業全国連絡協議会」における中間報告を控え、評価指標や評価方法などの明確化について検討した。第3回では、三谷小学校におけるスーパー食育スクール事業の最終的な成果や分析結果などの報告を行った。各回の内容は以下のとおりである。

(1) 第1回杉並区推進委員会

日時：平成26年7月28日（月）10時00分から11時00分まで 会場：杉並区立三谷小学校

第1回目では杉並区立三谷小学校における「スーパー食育スクール事業」の取組テーマ、検証方法、年間計画などについて事業計画書に沿って説明を行い、その後、委員の自己紹介及び意見交換が行われた。

委員からは「今まで三谷小学校は和食を推進してきたが、その成果を検証し、他の学校に広めることは良いことである。」といった好意的な意見が多く聞かれた。その上で、委員の各立場から「給食だけでなく、授業の中で児童の意識を変えることが必要である。」「この取組を他の教師や家庭にどのように広めていくか。」「今まで和食に対してあまり意識のない保護者を今後どのように変えれば良いか。」などの意見が交わされた。

(2) 第2回杉並区推進委員会

日時：平成26年10月22日（水）10時00分から11時00分まで 会場：杉並区立三谷小学校

第2回では第1回から現在までの活動実績を報告し、基礎データの中間分析・検討結果を報告した。その後、委員による意見交換を行った。報告では、「料理名が分からない又は未記入の児童がいるため、データを分析することが難しい。」「取組前後の変化だけでなく、授業の中にかに食育を取り入れ、効果をもたらすか、各プログラム前後の変容データを取ることが大事である。」といった課題が指摘された。

また、委員からも「和食を推進すると社会性が向上するというのは飛躍し過ぎてはいないか。社会性の評価指標・項目について絞った方が良い。」「全ての教科において社会性については触れられているが、児童に対する社会性の指標項目の設定は難しい。」といった意見もあった。

しかし、委員の方々は「この学校の取組のすばらしいところは、地域との連携がしっかり行われていることである。」と評価し、引き続き本事業の取組を支援してくださることを確認した。

評価指標や評価方法などの明確化の必要性が明らかになった重要な会議であった。

(3) 第3回杉並区推進委員会

日時：平成27年2月25日（水）10時00分～11時00分 会場：杉並区立三谷小学校

第3回目では、杉並区立三谷小学校における「スーパー食育スクール事業」の第2回から事業完了までの活動実績を報告し、最終報告を行い、委員の方々から1年間の取組を通して意見や感想を伺った。

最終報告では、学校・家庭における和食比率が向上したことや一部の項目において社会性の向上と生活リズムが向上した結果が明らかになった（詳細については「4 成果検証・分析」参照）。しかし、学校や家庭での和食推進の取組と社会性の向上及び生活リズムの改善との関連性については、時間的制約もあり教育課程に深く踏み込むことができなかったことなどから、年度内に行うことに課題が残った。このことについて、杉並区教育委員会では来年度以降、以下の取組の検討を行う予定である。

- ① 教員新任研修へ給食指導や食育指導を組み込む。
- ② 三谷小学校の全教員が、各教科（特に生活科・総合的な学習の時間）の授業に引き続き食育を取り入れる。
- ③ 三谷小学校のスーパー食育スクール事業の取組について、区内小中学校へ周知する機会を設ける。

また、各委員の方々から「食育の授業や親子料理教室などを通して、親子で食に関して話す機会が増えた。」「地域の方々と連携し、還元していくことで、学校内だけにとどまらず地域にも影響を与える良い取組になったと思う。」という好意的な意見と共に、「今回の取組成果を他校に広めてほしい。」「今年度にとどまらず、今後も和食推進の取組、食育の推進を進めてほしい。」「教育効果を現段階だけで図ることは難しいかもしれない。将来子供たちが親になった際、今まで学習したことや生産者との体験などが日々の食卓に反映されるかもしれない。」といった今後への期待や願いが感じられる意見も聞かれた。

3 その他の取組

杉並区教育委員会では、地域特性を生かした給食提供の機会を設けるなど、食育を通して家庭や地域社会のつながりを大切に、子供たちが健康で活力ある生活を送ることができるよう支援している。

「スーパー食育スクール事業」を実施するに当たり、杉並区教育委員会としては、事業実施中、また、事業実施後にどのように「杉並区における食育」として、各学校に周知し展開できるか指導助言をしてきた。

事業テーマを達成するため、実施目標及び評価指標などを評価の上、改善を加え、検証結果の質の充実と

それに向けた支援を行うため、杉並区推進委員会や東京都スーパー食育スクール推進委員会へ参加し、意見及び情報交換をした。

事業実施後は、杉並区内の学校教育活動全体の中で、食育を組織的かつ計画的に推進するため、本事業報告会や研修会を支援し、区全体の食育の取組として活用できるよう推進する。

杉並区の食育

「食育」は、生きる上での基本であり、徳育・知育・体育の基礎となるものである。食を通じて子供の心身の健全育成を目指した健康な生活を実践できる人を育てるため、以下の考えの下、食育を推進する。

- 1 「食」は子供たちが豊かな人間性を育み、生きる力を身に付けていく上での礎である。食育を「教育立区すぎなみ」が目指す「人づくり」において、徳育・知育・体育の基礎と位置付けて推進する。
- 2 食育の対象は、「教育立区すぎなみ」が目指す「人づくり」の対象である子供たちと共に、子供たちの教育に大きな影響をもつ保護者や地域への食育も視野に入れて推進する。
- 3 食育は、「何を」「どれだけ」食べるかということと共に、「いつ」「どこで」「誰と」「どのように」食べるかといった、人との関わりにも視点を置いて推進する。
- 4 食育は、区長部局と教育委員会が共通の目標をもって区全体として推進する。また食育の環境づくりのために、行政だけでなく、NPOや企業などの民間活力を生かしながら地域ぐるみで推進する。



杉並区推進委員会の様子